

園長	主任	担任

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 冬の生活の仕方を覚え、進んで取り組む。 体を十分に使い、戸外で元気にあそぶ。 友だちと遊びを共有しながら、簡単なルールのあるあそびや表現あそびを楽しむ。 年末年始の行事に関心や期待をもつ。 	子ども先月の姿	<p>簡単なルールを守って集団遊びをし、体を以前より沢山動かすようになった。</p> <p>室内での集団遊びでは、キャラクターになりきったごっこ遊びが人気でスカートなどを身につけ本格的に楽しんでた。その一方でブロック遊びは創造・模倣して作ることがとても上手になり時には集団で見せ合いながら遊びを深めていた。</p> <p>言葉でのやりとりを楽しむ姿も見られた。</p>	行事	<p>3日 風船太郎</p> <p>6日 英語で遊ぼう</p> <p>7日 冬のパーティー</p> <p>20日 身体測定</p> <p>26日 職員会議</p> <p>22日 避難訓練</p>
-----	---	---------	--	----	---

内 容	環 境 構 成	保育者の援助及び配慮
-----	---------	------------

<p>養護○生命・情緒</p>	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い・うがい・衣服の調節など冬の生活習慣を身につける。 冬の衛生管理に留意し、一人一人が健康で快適に過ごせるようにする。 異年齢児と遊びや生活をする時は、不安にならぬよう気を配り、緊張を和らげるようにする。 運動器具の安全を確認し、正しい使い方を知らせ、安全に遊ぶ事ができるようにする。 気の合う友達と安定した気持ちで遊べるように配慮していく。 自分の気持ちを十分に表現できる環境の中で、相手の、気持ちにも少しずつ耳を傾けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い場や衣服を調節する際に場所の取り合いなどに気を付け、広いスペースを確保する。 子どものやりたい気持ちに答え、環境を整えていく。 暖房で室内が乾燥しないように、加湿器を使う。こまめに換気をする。 滑り台やブランコなどの固定遊具を使用する際は、注意事項や使用方法を知らせる。 体調や天候に考慮しながら戸外で遊ぶ。 子どもの心の変化に気付けるように見守る。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い30秒、うがい3回など、手洗い・うがいの大切さを伝えるとともにわかりやすく具体的な約束を決める。 健康観察を怠らないに行い、一人一人の体調を把握する。 異年齢児との関わりで緊張を感じられた際には、側に寄り添うなど無理なく緊張をほどいていく。 遊具を使用する際は楽しく安全に取り組めるような言葉がけをする。 暖房器具や加湿器の点検・清掃を行う。 言葉で表現するのが難しい時には、保育者が言葉にして十分に気持ちを理解できるように工夫する。また、仲立ちし、相手の気持ちを知ることができるように伝えていく。
-----------------	---	---	---

<p>教育○健康・人間関係・環境・言葉・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> 上着の着脱や片づけを自分でしようとする。 手洗いやうがいをすることに自分で気付き、意欲的に行う。 寒さに負けず戸外で元気に体を動かしながら遊ぶ。 保育者や友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。(鬼ごっこ、氷才二、あぶくたった等) 保育者の手伝いを喜んでする。 気の合う友だちと好きな遊びを繰り返し、遊ぶことで、一緒にいる心地よさを味わう。 冬の自然に興味を持ち、触れたり感動したりする。 園内外の季節の移り変わりに目を向け、冬の訪れを感じる。 公共のルールを知ったり守ろうとする。 保育者に見守られながら、友達や保育者に自分の思いを伝える。 季節の歌を楽しむ(あわてんぼうのサンタクロース お正月) 友だちや保育者と、図鑑や冬の絵本を楽しむ。 体や言葉で表現する楽しさを味わう。 季節に関する制作を楽しむ。 はさみを正しく使い、紙を切る。 折り紙で様々な物を折り指先を使う。 	<ul style="list-style-type: none"> 上着などがかけやすい環境を整える。 身体を大きく動かす前に少し歩くなど、怪我のないようにする。 遊びが十分に行える場所を確保する。 子どもたちの中でルールある遊びを楽しめるよう、簡単なルールある遊びを提案する。 日々の生活の中で様々な手伝いができる機会を作る。 トラブルが未然に防げるよう、広いスペースを確保する。 新しい年の始まりや、日本ならではの年末年始の過ごし方に興味・関心をもてるように絵カードなどで伝える。 風の冷たさやはく息の白さ、また陽だまりの温かさなどを感じられるように、戸外に出て自然にふれる機会をもつようにする。 公共ルール・交通ルールが分かる紙芝居を読む。 季節の歌が歌えるよう、ピアノやラジカセを用意する。 冬に親しみを持てる絵本や図鑑を用意しておく。 一人ひとりが楽しんで表現している様子に共感し、表現する喜びを味わえるようにする。 子どもたちの意欲や欲求が満たされるように、制作に必要な物品や工作等を準備しておく。(画用紙・のり・はさみ・空箱・クレヨン・紐・セロテープ等) 折り紙は常に補充しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 着脱の時間を十分に取、一人でやろうとする姿を見守りながら、「できた」という気持ちに共感し、次への自信に繋げていく。 保育者が声を掛けずに自ら積極的に行うことで、さりげなく知らせていく。 子どもたちの体調を見ながら無理なく戸外遊びを楽しめるようにする。 ルールのある遊びでは、友達と楽しく遊ぶためにルールがあることに気づけるようにし、状況に応じて保育者が一緒に入りつつ遊んでいく。保育者が遊ぶ中でルールを守る姿も示していく。 感謝されることの心地よさ、誰かの役に立つことの心地よさを知らせていく。 子どもの思いや見立てを受け止めたり、遊び方を示したりして、様々な遊びを楽しめるようにする。 季節の変化に気づけるよう、「茶色い葉っぱだけどもう落ちてるね」など以前の様子を交えながら子どもたちに話したり、話しを聞いたりする。 散歩では子どもたちの発見や気付きに共感し、冬の訪れを伝える。 自分の気持ちをうまく伝えられないときは、言葉にならない気持ちを受け止め、出来事を振り返ったり、「何を伝えたいのか」を一緒にみつめていくようにする。 季節の歌を歌ったり、絵本や図鑑を見ながら、昔ながらの言い回しや難しい言葉の意味を伝えていく。 制作等では、保育者が見本をみせ、作り方を丁寧に知らせていく。 作る楽しさをや飾る楽しさ、作り上げた達成感が味わえるように、一人一人の姿や作品を認める。
----------------------------	---	---	--

<p>食育</p>	<ul style="list-style-type: none"> あいさつや姿勢など、気持ちよく食事をするためのマナーがあることを知り、自分で意識しながら取り組む。 クリスマス、お正月ならではの食事に興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> マナー(交差食へ、食器に手を添えるなど)を知り、楽しく食事を摂る。 クリスマス食など、給食などで出た際は見やすく配膳する。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつや姿勢など子どもたちの見本になるように職員が気をつけていく。 姿勢など子どもたち自身が気を付けている時にはその姿を褒め、自信に繋げていく。
-----------	--	--	--

家庭・地域との連携	保 健・安 全	月の反省と自己評価
-----------	---------	-----------

<ul style="list-style-type: none"> 冬の感染症が流行しやすい時期なので、体調管理面で家庭との連携を密にし、共に予防に努めていく。 子ども自身が着脱しやすく、動きやすい上着での登園をお願いする。 気温に合わせた衣服の準備をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外では急に大きな動きで動きださないよう伝え、ケガの予防をする。 手洗い、うがいの大切さを知らせていく。 	
--	---	--